

# Hands&me

発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 福田一哉 編集責任者:植田寿雄 制作・編集:メディアコミュニケーション委員会 印刷所:東京印刷株

## 3月例会開催 エコツーリズムで再発見!



平成19年3月16日(金)米子市児童文化センターならびに米子城跡で、わくわく発掘委員会担当による3月例会が行われた。

会長挨拶の中で、日本海新聞「私の視点」のコーナーに地域スクラム委員会の土岐委員長の投稿記事が掲載された事を発表された。「ガイナール鳥取」について、米子市・鳥取市の姿勢や現在の状況などの内容であった。(詳しくは日本海新聞2月24日[12面]参照)

「我々、青年経済団体として鳥取県西部の経済効果を考えて行くべき。Jリーグのチームがあれば地域が盛り上がっていく。機運を盛り上げていく活動の中で自分を磨いていただきたい。」「我々の会は親会にしばられる事なくアイデンティティーさえ自分たちで創れる自由な会。今後とも自由な発想でTry&Challengeしていただきたい。」と述べられた。

続いて委員長タイムではビジネス交流委員会の畠山委員長が、自身の幼少時代の思い出話の中で「本を読むのが好きで、児童図書館に自転車よくかよってたくさん本を借りていた。非常に覚えている事があって、図書館の前に白い大きな看板が立っていて、この図書館は米子青年会議所が作ったのだということが書いてあった。子供ながらによいことをしてくれる団体だなと思った。今はその児童図書館はないが、児童向けのまとまった蔵書数がある図書館があるといいと思う。」と発表された。

続いて、わくわく発掘委員会の増井委員長による例会趣旨説明が行われた。

「エコツーリズムとは我々の活動とほとんど同じで、自分の持てるこの地域に対する思いをいかに説明できるか、その話でおもてなしが出来るか。城山に登ることで自分で感じられた事をいろんな人に紹介できる。そういった人が増えてくれば、今ある地域の自然や文化が県外・海外の方に観光の形態として喜んでいただくという方向につながるというのが一つの取り組みです。」と発表された。

場所を移して「今日の夜景」という事で隣接するプラネタリウムで幻想的な星空を観賞した。久しく見ていなかったのが改めてよい施設だと感じた。プラネタリウムでの予習を終え、我々は米子城跡におにぎりとお茶を抱えて向かいはじめた。登り始めは会話も多かったが途中からペースが落ちてくる会員もあり、日頃の運動不足を思い知らされたのではないだろうか?頂上に着くと360度、見渡す限りのキラキラした米子の夜景が我々を迎えてくれた。こんなに綺麗だとは正直思っていなかったのもまた登ってみようと思う気持ちが芽生えた。こういった体験こそ、エコツーリズムの根幹なのではないだろうか。

我々西部青年中央会はこのような活動を通して、鳥取県西部地区のよりよい発展にむけてこれからも「Try&Challenge」していきます。

エコツーリズムとは? (エコツーリズム推進協議会による定義)

- 自然・歴史・文化など、地域固有の資源を生かした観光
- 適切な管理に基づく保護・保全
- 地域資源の健全な存続による地域経済への波及効果 など (記事:安岡)



## 平成18年度鳥取県中小企業青年中央会 経営研修会



平成19年3月23日(金)米子コンベンションセンタービッグシップにおいて、平成18年度鳥取県中小企業青年中央会経営研修会が開催された。冒頭、釜田県会長より「青年中央会も緊縮予算となっており、限られた予算の中で知恵を出し合って、青年中央会を知恵の集合体とし、精一杯地域貢献活動を継続していこう」との決意を述べられた。

講演は当西部OBで山陰合同銀行地域振興部長を務められる中ノ森寿昭氏を迎え、演題「破壊から創造への挑戦」をご講演いただいた。地域振興部の主な業務は金融営業(M&Aチーム等)、地域プロジェクト(PFIのアレンジメント業務)、社会貢献(森林保全活動の企画・実行等)で、その活動の一部を紹介されたが、地域金融機関として最も重要な分野でご活躍されている同氏にただ敬服するばかりであった。

講演の中で地元企業の経営者としてM&Aを勉強し、いざという時に備える必要性を説かれた。「今後ますますM&Aは浸透し、いつ自社に金融機関等からそのような提案があるか分からない、スピーディーな経営判断が求められるので千載一瞬のチャンスを逃すことが無いように」との過去の実体験に基づいた貴重な意見を述べられた。「まずは自社の取引先(販売先・仕入先)でM&Aを具体的にイメージしてはどうか、M&Aを身近なものとして考えられ、また自社を客観的に見ることで企業価値(強み・弱み)も明確になるのではないかと」の提案もされた。また「産地創造」の必要性も説かれた。博多名物の明太子が紹介されたが、山陰にも良質の食材が数多くあり、全国区となる産地創造は可能とのことであった。そのために必要なことは「オープンマインド」(開発商品を自社の秘密とせず、他社にその技術をオープンとする)である、パイ(市場)を大きくして利用価値を高める重要性を語られた。そのほか興味深い多くの話をいただいたが、あらためて中ノ森氏の地域や地元企業、中央会に対する熱い思いを感じるとともに、このような立派なOBがいっぱいいることを誇りに思い、自分も日々努力していこうと決意したものです。(記事:村上)



## 会計担当理事 中間報告



会計担当理事  
田中 康裕

会計担当理事という過去にない役職で、当面何をしていけばよいやら試行錯誤の状態です。何とか自立した会計体系の基礎を築くことができたのではないかと考えております。

まず一番目は、委員会予算の事業計画化です。今年度は福田会長の方針により各委員会で事業計画と予算案を立案していただき、役員会でその委員会事業計画の審議を行ったうえで下期の委員会予算を決定するという前例のない取り組みでありました。計画策定にあたり各委員長さんのご苦労は大変だったと思いますが、計画を策定される中で委員会活動の振り返りと今後のやるべきことが明確になったのではないかと考えております。

会計体系の基礎固めの二番目は、会計帳簿のデータベース化です。これまで手書きで行っていた帳簿形態をエクセルでデータベース化することによって、①作業量の緩和、②メールを利用した監査体系、③帳簿データの収支見込案への転用、といった効果をもたらすことが出来ました。まだまだ完璧とは言えませんが、次年度以降の会計担当の方が専門家でなくても、わかりやすく、便利に業務が行なえる形は構築できたと思います。

以上の二点の取り組みから、皆さんは何かを気づかれましたか?・・・この二点は、企業経営の要である「PDCAサイクル」そのものなのです。①「トライ&チャレンジ」というトップの経営理念の元に「事業計画」策定し(Plan)、②計画に従って経営戦略を実行し(Do)、③計画が予定とおりに行なわれているかを数値データで検証する(Check)。皆さんの会社は如何ですか?成行き経営で業績が伸びない方は、是非「委員長」を経験され、計画と実行プロセスを体験されることをお勧めいたします?



### 委員会 BunBun 訪問

～ 委員会は会議室だけでやっているのではない... 現場でもやっているのだ!! ～



#### ● 総務委員会 ●

平成19年3月12日(月)に米子ニューアーバンホテルにおいて総務委員会が開催されました。

役員会報告の後、主たる

テーマである4月レクリエーション例会について議論されました。

はじめに、中村委員長より役員会に提出されたレクリエーション例会の企画案の説明があり、日時・場所や会員及び家族を対象に出席目標人数を150名とする事が述べられました。続いて、本レクリエーション例会が恒例となっており、家族を招いて本例会を通じて当会への更なる理解を深めてもらい、同時に家族サービスをはかること。また福田会長の地元の日野川源流の自然の中で、共存し、遊び、学ぶことを体験するという2つの大まかな目的と事業内容までが発表されました。

次に濱田委員より、3月3日に濱田班4名で現地視察に赴き、

その際に感じた事や日南邑の職員の方より受けたアドバイスなどを踏まえて、タイムスケジュールにそった行動計画案や今後検討を要する問題点等、3月9日(金)に行われた濱田班小委員会で討議された内容が発表されました。その後、各委員から意見や感想が述べられ「せっかく日南町まで行くのだから、米子や日吉津で出来ないことをやらないと遠出する意味がない」「実際に行動出来るのか、各自自分の家族に当てはめて考えてみたらどうか?」「今の子供たちがしたことのなさそうな、川での水遊びはどうか?」等と多数の意見が出され、活発に討論がなされました。(ちなみにその時点での問題点は、例会を行うための議場封鎖をどうするか?や、行き帰りの途中でトイレ休憩が出来る場所の確保等でした)

激論が交わされる中で、アトラクションのあり方を全員参加で一つの事をやるか、複数の選択肢を用意して各自が好きなモノを選べるやり方にするか多数決が採られ、複数から選べる形式で行うことに決議されました。さらに、一度総務委員会みんなで現地を実際と同じようなタイムスケジュールで視察に行こうという方向で盛り上がり、21日に行くという事が決定しました。

最後に中田副会長より、「みんなが楽しむ為には、まず自分たちが楽しむ事だ」という締め言葉があり、一致団結したメンバーは更なる結束を固めるため、夜の闇へと消えて行ったのでした。

(記事:竹谷)

## PLAYBACK 中央会 -あの頃僕は若かった！-



### 第16期卒会 港 紀一郎OB

Q. 入会当時についてお伺いします。

A. 私は当時J Cに入っていて、中央会には5歳下の弟を入会させるつもりでした。面接など諸手続を終え、入会の段取りが出来たときに突然弟が「絶対に入らんよ」と言ひだし「こりゃ困ったな、どうするか？」あてにされているし、断りにくいし、ちょうど自分もJ Cを卒業したから代わりに自分が入るか、ということで私が入会することになりました。J C時代はかなり家族・職場に迷惑をかけてきたので、入会当初は懺悔の気持ちでなるべくおとなしくするようにしていました。それと旅館業のため、夜間外出しにくかったのも

ありますので、例会・委員会のあとはおとなしくしていました。

Q. お話の中でありましたJ Cと中央会の感想をお聞かせください。

A. 一番違ったのは運営のしかたですね。それぞれ良さがありますが、J Cの場合は会議の進め方も刻みで時間内にきちっと終わってました。あまり融通が利かないというか型にはまっているというか、自由度がありませんでした。それに比べると中央会はラフというか、ざっくりというか型にはまっていなくて自由にやりとりされ、個性的な発想のできる豪傑な方がたくさんおられた伝統のある会だったという印象があります。いま思えば、中央会時代のほうが生き生きしていたかもしれないですね。

Q. 有り難うございました。今後の中央会に期待することをお願いします。

A. 明るい未来をみつめ、若い力を地元のために生かしていただき地域活性化のために何をすべきか、何が必要かをみなさんと議論・検討していただきたいです。  
(記事:小川)

## Try & Challenge ~夢をかなえるために~



森をまもろう みんながキーパー！

地域スクラム委員会  
浅中 雅彦 会員

私たちのふるさと鳥取県は、山や海といった豊かな自然に囲まれたとても恵まれた環境にあります。同時に鳥取県は県土の

3分の2以上を森林が占める全国有数の森林県でもあり、「森林」はすなわち「ふるさと鳥取県」であると言っても過言ではありません。森林は命の源である「水」を生態系の中でコントロールしてくれる大切な役割を担っています。森林は水不足や洪水を防ぐ役割があるほか、水を浄化して海へ返すことにより人間や様々な生物に恩恵を与えています。

しかし今、その森林は林業の担い手不足や高齢化、外来材の台頭などを理由に人の手が加わらず荒廃が進行してしまっている状況にあります。近年、CSR(企業の社会的責任)への関心が高まりをみせるなか、山陰合同銀行ではふるさとの自然が泣いていることに着目し「森林保全活動」を始めました。

私も昨年の10月に日野郡江府町の森で、森林学習や森林整備を体験しました。日野森林組合の方から森林についてのレクチャーを受け、実際にチェーンソーを使って間伐を行い、ミズナラなどの植樹を行いました。当日はきれいな空気の中で久しぶりに気持ちのよい汗をかくことができ、非常に充実感のある1日でした。

森林が荒廃するのに時間はかかりませんが、元の姿に戻すには長い年月と手間がかかります。来年以降も森林保全に携わっていくわけですが、自分たちが植えた苗木の成長を見るのが今後の大きな楽しみになりました。

さて、「J昇格を目指すわれらのガイナール鳥取も「森をまもろう みんながキーパー！」のロゴを胸に、森林保全の大切さを全国へ発信してくれています。一人でも多くの方に森を大切に思う気持ちが伝わるよう、これからも活動を続けていきたいと思います。

## ビジネス交流委員会オープン委員会 音楽熟成の夕べ

平成19年3月7日(水)ビジネス交流委員会が東京印刷株式会社取締役社長 杉原弘一郎氏、ピアニストの山城裕子氏を迎え、米子全日空ホテルにて「音楽から見た地域文化～モーツァルトとともに」と題して講演をいただいた。

まず杉原社長の講演では、音楽熟成による人体や精神、そして果物や野菜に与える影響を話され、クラシック音楽(特にモーツァルト)の波動による右脳開発は、きわめて集中力が増し生産力向上・ミス削減・イメージによるデザイン力のアップなど、自社での統計結果も踏まえて詳しく解説いただいた。

次に、昨年米子市で開催されたフランクフルト国立管弦楽団日本公演にふれ、「米子のクラシック人口は700人程しかいないのに千人も集めるのは不可能だと言ったが、山城氏の『ダメなら自宅を売ります』という熱い熱意にうたれ、協力を決意した。結果は満席という大成功に終わった」と、懐かしんで語られた。

その後、場は山城さんに譲られ、すばらしいピアノ演奏と共に弾き方によって音楽家の個性を表現したり、有名な「くるみ割り人形」を披露したりと、すばらしい演奏で我々を魅了した。

質疑応答の時間でも、会員から「ドイツで成功する秘訣」とか「なぜ米子で活動することに決めたのか」等々多くの質問が寄せられ、国境を超えて活動する難しさや楽しさを教わりながら講演は終了した。

オープン委員会での、しかも世界的に有名なピアニストの演奏を聴く事が出来た委員会出席者は(自分も含め)大変幸運だったと思うとともに、これだけの機会を10名前後で味わうのは大変もったいなく感じた。こういうめったに聴けないものこそ、もっとたくさんの人に聴いてもらいたいと思った。

最後に、山城氏と畠山委員長の連弾というサプライズもあり、有意義なオープン委員会となった。  
(記事:桑本)



## 押忍！ 団長の 役立つ経済トピック

最近、M&A(企業の合併、買収)、TOB(株式の公開買付け)などの用語が新聞紙上を賑わしています。今後さらにスケールアップした再編劇が起こりえる改正が、今年5月より始まります。それは「三角合併」の解禁と呼ばれるもので、内容は外国に本社を置く企業の日本国内子会社が、日本企業に買収をかけた対価として外国本社の株券を充当できるというものです。

外国企業は一般的な日本企業の株の時価総額より数倍以上の時価総額を有する会社が多数あり、一気に呑み込んでくる可能性有ということです。対抗策として日本の上場企業の多くの経営者は、株価政策(増配、自社株買い等)をとり時価総額を大きくしていくことを意識せざるをえなくなりそうです。

2009年には株券の電子化が始まります。お手元に株券をお持ちの方は、個人、法人等様々なケースがありますので、気軽に声をかけて頂ければ対応を説明させていただきます。

(大山日丸証券(株)米子支店

営業課長 佐々木 雅彦)

# われら卒会 ~32期中央会卒会の年を迎えて~

## 去り行く者にして、未だ会について語るを得ず 武海 章 会員

卒会、らしい。私も。しかし、全く実感が無い。なにしろまだ、四月。これからやる事、たくさんあります。実際。十三年居ました。この会に。一年延びてしまいました。定年が。往生際が悪いのか、それともモトリアム会員だったのか。しかし、家族には迷惑をかけてきた。これだけは謝罪しなければ

ならない。そして心から感謝したいと思う。「ありがとう。」と、言っても根っこの部分は直らないよ。卒会しても多分。いや、きっと。顧みれば良い事よりも、駄目だった事の方が思い出される。やっぱり、ネガティブ。だけど、確実に人生の肥やしになっている。今度は、失敗しないで頑張ろう、って。  
こんな私なので、これからバトンを継ぐ皆さんですが、残す言葉などはありません。そんなもの無くて大丈夫。だって中央会は皆さんがこれからまた、新しく作っていくものだから。



94年 秋のレクリエーション例会  
日南邑グラウンドにて

## 3月度委員会報告

### 総務委員会

平成19年3月12日(月)於:米子ニューアバンホテル 出席者/13名  
議題・4月レクリエーション例会について  
例会の内容、アトラクションについての説明後、意見交換  
3月21日に現地視察をして再考

### エコチャレンジ委員会

平成19年3月5日(月)於:米子ニューアバンホテル 出席者/8名  
講演 演題:コミュニティビジネスによる資源循環システムの構築について  
講師:サンイン技術コンサルタント(株) 大野木昭夫社長 (23期OB)

### ビジネス交流委員会

平成19年3月7日(水)於:米子全日空ホテル 出席者/7名  
オープン委員会  
講演と演奏:「音楽から見た地域文化~モーツァルトとともに」  
講師:杉原弘一郎氏(音楽熟成協会、13期OB)  
山城裕子氏(ピアニスト)

### メディアコミュニケーション委員会

平成19年3月8日(木)於:ぶどうの木 出席者/17名  
議題・ハンサムの特集・卒会寄稿文、委員会報告書について  
・HPについて・中央会番組について

### 政治行政委員会

平成19年3月8日(木)於:ウェルネスイン・ほうき路 出席者/9名  
議題・6月フォーラム内容について  
・班別役割について A班、B班に分かれて役割分担

### わくわく発掘委員会

平成19年3月5日(月)於:ウェルネスイン・ほうき路 出席者/10名  
議題・3月担当例会打ち合わせ  
①当日のスケジュール最終確認  
②備品・食料品の担当及び発注先の確認

### 地域スクラム委員会

平成19年3月7日(水)於:ウェルネスイン・ほうき路 出席者/8名  
議題・各検証リーダーより検証活動報告  
・愛媛FC視察時の関係者への質問項目取りまとめ

### 夢委員会

平成19年3月12日(月)於:ウェルネスイン・ほうき路 出席者/8名  
議題・担当例会打ち合わせ  
・新入会員オリエンテーション打ち合わせ

※役員会報告、連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。詳細については各委員長までご参照ください。

## 新入会員

 (写真撮影:中村(臣))	のぐち <b>樋口 潤</b>	じゅん B型 部長
	(株)中海葬儀社 葬祭業全般 〒683-0851 米子市夜見町3081-11 TEL 22-0983 FAX 22-0993 (KT) 090-6839-9404 (EM) chu001@mocha.ocn.ne.jp S 48.5.22生	

〈コメント〉3月より入会させていただきました。(株)中海葬儀社の樋口潤と申します。この鳥取県に生を受けて三十数年ではありますが、故郷は良い所だと今の子供達伝えていきたいと思っています。どのようなことでも皆様のお手伝いが出来るかわかりませんが、微力ながら地域振興のために努力したいと思っています。まだまだ若輩者ですが、中央会に入会したことで自分自身も大きく成長できたらと思っています。皆様のご指導よろしくお願い致します。

### お誕生おめでとう

あらかわ たつみ  
**荒川 達海ちゃん**

平成19年1月28日生まれ 荒川 秀光会員の長男(第1子)  
一言メッセージ:「よろしく頼みます」



### 新店舗オープン 村岡 誠一会員

住所:米子市万能町146(米子東横イン正面)  
関西風お好み焼き キャベツ畑  
Tel:0859-34-0230  
営業時間 17:00~24:00  
定休日 毎週日曜日



## 県青中の動き

ホームページをご覧ください。  
<http://www.tsc-west.gr.jp>

### 4月役員会報告

4月定例役員会が平成19年4月2日(月)米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。  
・3月例会報告の件  
・4月レクリエーション例会開催の件  
・5月例会開催の件  
・県青年中央会報告の件  
・その他

### 4月レクリエーション例会案内

と き:平成19年4月22日(日) 10:30~  
と ころ:ふるさと日南邑「ファームイン」  
※雨天時:同所「みどりの館」  
ご家族を招いてのレクリエーション例会  
担 当:総務委員会

### 4月ハンサム編集後記

4月となり出会いと別れの季節になりました。皆様の職場でも去られる方、これから頑張る為入社された方がおられることと思います。当社では高圧ガスを製造・販売している為、保安の確保こそが最大の企業責務であると考えています。経験豊かな人材が去られてもその質を落とすことなく、次の世代へ引き継いでいくことが重要です。去られる方に感謝しつつ、新入社員に期待しつつ、また春がやってきました。青年中央会では、どんな花が咲くのでしょうか? (記事:岩田)